

立命館慶祥中学校・高等学校 2024 年度学校目標年度末報告シート

教育目標

- ・建学の精神「自由と清新 / 教学理念「平和と民主主義」
- ・本校教育活動の目的 「世界に通用する 18 歳」の育成
- ・人材育成目標 ①、「チャレンジ精神に満ちた人間」の育成
②、「社会の変化に対応し、自ら深く考え行動する人間」の育成
③、「グローバル・シチズンシップを備えた人間」の育成

中期目標（上位目標）

- 生徒指導に対する様々な取り組み（生活指導、生徒事故対応、行事精選、生徒指導観の議論）
- 質の高い授業の実践（学びの慶祥モデルの浸透）
- 文部科学省SSH事業の推進（基礎枠指定Ⅲ期1年目）
- 立命館慶祥小学校との接続、R2030、中長期的将来構想の確立
- アフターコロナの保護者会政策、見直しと再構築

I. 生徒指導に対する様々な取り組み（生活指導、生徒事故対応、行事精選、生徒指導観の議論）

中位目標		達成目標（当年度目標）	評価
1	基礎基本の徹底	(1) 生活ガイドブック（校則＜ガイドライン＞）記載事項の周知徹底	△
		(2) 身だしなみの乱れに対する教員の指導徹底	△
		(3) 生活規律（時間、私物管理、環境整備 等）の乱れを指摘し、支援する働きかけ	○
		(4) 公共交通マナーに対する注意喚起、一般市民からのクレームへの迅速な対応	◎
2	行事の精選	(1) 既存行事に対する問題提起、行事精選の議論	◎
		(2) 行事改革実行委員会の組織、運営	◎
		(3) 行事精選へ向けた素案作成	◎
3	生徒指導観の議論と再構築	(1) 聞き取りに関する「司法面接の手法」研修の継続実施	◎
		(2) 聞き取り過程での教員、生徒、保護者トラブルの軽減	○
		(3) 生徒指導観の再構築へ向けた対する全教職員による議論	△
		(4) 生徒指導内規の点検、加筆修正	◎

II. 質の高い授業の実践（学びの慶祥モデルの浸透）

中位目標		達成目標（当年度目標）	評価
1	学びの慶祥モデルに基づく授業づくり	(1) 学びの慶祥モデルの教員間の認知向上	◎
		(2) 教科会重点テーマの設定	◎
		(3) 学びの慶祥モデル、教科会重点テーマの生徒・保護者への公開	◎
		(4) 授業評価アンケートにおける高評価の獲得（主体性項目）	◎

2	教科会重点テーマの活用	(1)	テーマ活用状況の丁寧な点検、さらなる活用の促進	△
		(2)	教科会重点テーマの意義理解、次年度以降の継続確認	◎
3	Rコースにおける協働的な学び数値ガイドラインの活用	(1)	授業評価アンケートにおける高評価の獲得（主体性項目、ICT活用、成長実感）	○
		(2)	ガイドライン活用状況の丁寧な点検、さらなる活用の促進	△
		(3)	Rコースの授業におけるICT活用	◎

Ⅲ. 文部科学省SSH事業の推進（基礎枠指定Ⅲ期1年目）

中位目標		達成目標（当年度目標）		評価
1	基礎枠の着実な履行と次年度本格稼働へ向けた準備	(1)	SSH推進のための体制構築	○
		(2)	新たな社会連携先の構築	◎
		(3)	新たな海外連携先の構築	◎
		(4)	新たな国際共同研究の実行（新規 トルコ・イスタンブール）	◎
2	重点枠への挑戦	(1)	SSH運営指導委員会の多様なメンバー構成	◎
		(2)	SSH運営指導委員会の確実な実施、骨太な議論	◎
		(3)	重点枠申請書の期日内作成、ヒアリング対策の実施	◎
		(4)	重点枠指定を見据えた次年度体制の構築	○

Ⅳ. 立命館慶祥小学校との接続、R2030、中長期的将来構想の確立

中位目標		達成目標（当年度目標）		評価
1	初年度小中接続の安定実施	(1)	小中接続出前講座、立命国語、立命算数の実施と高評価の獲得	◎
		(2)	小中接続事業の実施と高評価の獲得	◎
		(3)	接続初年度の教員体制整備	◎
2	将来構想の具体化	(1)	GL構想具体化委員会の多様なメンバー構成	◎
		(2)	GL構想具体化委員会の実施とまとめの作成	◎
		(3)	SP構想に関する社会連携先の構築	◎
		(4)	SP構想に関するキャンパス創造計画のための素地づくり	◎

Ⅴ. アフターコロナの保護者会政策、見直しと再構築

中位目標		達成目標（当年度目標）		評価
1	情報発信と理解獲得	(1)	Instagramを活用した学校トピックの定期的発信	○
		(2)	ポータルサイトを活用した学校情報の発信、周知徹底	△
		(3)	公開授業週間を通じた学校方針の周知	◎
2	関連行事の精選議論、共通認識	(1)	保護者会主催行事の精選議論の実施	◎
		(2)	学年懇談会、茶話会の確実な実施	◎
		(3)	私学助成署名運動に対する考え方の整理	○
		(4)	30周年事業実行員会の組織、実施計画策定の着実な進行と周知	○

達成状況

十分達成できたものを◎、おおむね達成できたものを○、取り組みが十分とは言えず次年度と課題として引き継ぐべきものを△とした。△については、すでに25年度学校経営方針、同学年経営方針、同校務分掌方針において具体的な取り組みを検討している。行事の精選、SSH基礎枠Ⅲ期指定獲得、新規姉妹校締結、新規社会連携先の開拓、国際共同研究・中高海外研修旅行の高い満足度獲得、クラブ活動の全国レベルの活躍など、本校のブランド力向上を一層実感できる1年となった。このことは、学校関係者評価委員会、保護者会・教育振興会総会においても、高く評価していただいた。これらを追い風に、田中学園立命館慶祥小学校から、1期生在籍42名のうち41名を受け入れることができた。北海道におけるチーム立命館慶祥の存在感をさらに高めていきたい。

改善策

△とした諸課題解決の改善に向けた方策として、①情報発信による周知徹底（落とし込み）、②グッドプラクティスの共有、③管理職による粘り強い働きかけ、④教員集団が目指す方向性の明確化があげられる。25年度の方針では「情報発信」を重点強化課題として掲げ、方針骨子を示した段階から教職員間の意思統一と意識化をはかっている。また、これら課題解決のミッションにあたる教員の姿勢として、受け身になるのではなく、1人1人が主体的に考えて仕事にあたること、一体感ある職場の雰囲気醸成しチームワークを実践していくことを管理職として求め続けていきたい。

学校関係者評価に関する事項

委員会 構成	委員長 齊藤信一様（立命館慶祥保護者会 会長） 須田壽美江様（江別市教育委員会委員長職務代理） 和田範能様（株式会社北日本広告社常務取締役） 小笠原正浩様（立命館慶祥教育振興会会長） 大越高さ（慶祥会会長） 久野信之常務理事 横澤広久一貫教育部長 菊地賢司校長
開催日程 主な議題	第1回 2024年6月28日（金）13:30-15:00 @慶祥ミーティングルーム1 第2回 2025年2月07日（金）13:30-15:00 @慶祥ミーティングルーム1
評価・改善 事項	【1回目】：授業における学び合いの様子、中学生から積極的にICT活用を進めている点、教職員も働き方の改善にICT活用（採点、成績処理、生徒・保護者連絡、ポータルサイト等）に取り組んでいる点を評価していただいた。これまでクラブ活動における外部人材活用を推進してきているが、諸活動の報告を通じてその成果を一定理解いただくこともできた。外部人材のさらなる活用と、財源確保についてご指摘をいただき、持続可能な枠組みと財政構造を組み立てるよう指摘があった。 【2回目】：SSH基礎枠Ⅲ期の取り組みと次年度以降の方向性について評価いただくことができた。委員会当日は、高校生が1年間実践してきた探究活動の報告と研究に関する対話の機会であるR-conference、SSH運営指導委員会が同時に実施されており、これらの取り組みに対して評価と激励をいただくことができた。24年度の諸活動報告や、立命館大学・APUへの進学状況、難関大学への進学見込みなど、まとめの報告を行ったが、いずれも高い評価をいただくことができた。一点、海外研修旅行について、学年単位で実施するものから、国際部が主導する任意参加型まで幅広く実施したことを報告したが、世界経済情勢の影響を受けた費用高騰について家計負担増を心配する声をいただいた。